

境分遣所へ救急車を配備する考えは

現体制では、人員などの問題から困難

質問 境分遣所への救急車配備の考えは。

答弁 現段階での消防署

の体制で、配置することは困難な状況であります。今年6月に消防組織法の一部改正により、人口30万人以上の規模を一つの目標に、広域消防の再編計画が示されています。

すし、国の基本指針と共に県として、消防広域化推進計画が平成19年度中に示されます。富士見町の各現場によって救急車の到着時間はまちまちですが、到着した現場で救命措置の対応が15分前後、一番遠い葛窪地域から病院に到着まで45分位かかることになりませんが、今のところ現状維持です。

○その他の質問事項

- ・教育委員の報酬改定
- ・信濃境・田端線

について



平出英夫 議員



境分遣所

農林業の位置付けが危ないのでは 多面的機能が発揮されている重要な柱

質問 第4次総合計画で農林業の基幹産業としての位置付けが危ういと感じるが、農林業を守る方向性は。

答弁 農業生産額や所得区分を見ると、基幹産業というより複数の柱のひとつと認識するのが実情に近い状況となっております。

しかし多くの町民が何らかの形で農業に関わり、その多面的な機能が発揮されていて、基幹とは言えないまでも、基幹的な重要な柱であり、環境保

全や景観保全を含めた位置付けになると考えます。

○その他の質問事項

- ・農林業振興
- ・観光振興

について



小林市子 議員